

議員提出第二十一号議案

ばらまき政策を排し、財政の健全化を求める意見書

わが国の財政は、世界的な景気後退の中で税収が大きく減少し、国と地方を合わせた長期債務残高が今年度末に八百六十二兆円に達する見込みであるなど、危機的状況にある。

平成二十二年度予算で歳出が膨らんだ要因が民主党の無茶なマニフェストにあることは明らかである。理念なきばらまき政策は、国民の財政に対する不信任感、将来に対する不安感を増幅している。歳出と歳入を一体的に改革し、財源の裏付けのある社会保障制度を確立することが急務である。

よって、国会及び政府におかれては、理念なきばらまき政策を中止するとともに、財政を健全化するため、次の施策を推進するよう強く要望する。

一 年金、医療、介護などの社会保障制度をさらに充実させるため、経済状況の好転と税金の無駄遣いの撲滅を前提に、消費税を含む税制の抜本改正を行うこと。

二 健全財政の維持を内閣の責任とする「財政責任法」を法制化し、「恒久政策には恒久財源」の原則を確立すること。

三 単なるばらまきでしかない子ども手当を全面的に見直し、保育所の整備・拡充や幼児教育無償化など、子育て家庭が真に必要なとするサービスを実施すること。

四 公務員の天下りの根絶、独立行政法人などでの税金の無駄遣いの撲滅など、徹底した行政改革を行うとともに、国家公務員人件費を二割削減すること。

右、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成二十二年六月二十二日

大分県議会議長 安 部 省 祐

|             |        |
|-------------|--------|
| 衆議院議長       | 横路孝弘殿  |
| 参議院議長       | 江田五月殿  |
| 内閣総理大臣      | 菅直人殿   |
| 財務大臣        | 野田佳彦殿  |
| 厚生労働大臣      | 長妻昭殿   |
| 国家戦略担当大臣    | 荒井聰殿   |
| 公務員制度改革担当大臣 | 玄葉光一郎殿 |
| 内閣府特命担当大臣   | 蓮舫殿    |

(行政刷新)